

# 平成30年度 「言語聴覚の日」イベント報告



## 大分県

～「伝えたい」をつなぐ、それが言語聴覚士です～

今年度も大分県言語聴覚士協会では、9月1日(土)15時～18時の3時間、JR大分駅前広場をお借りして、「9月1日は言語聴覚の日～伝えたいをつなぐ、それが言語聴覚士です～」と題したイベントを開催しました。事前に大分県健康寿命日本一応援企業・団体として登録、県福祉保健部健康づくり支援課より「みんなで延ばそう健康寿命日本一」のポスターとのぼりをお借りし、大分県ホームページへの案内掲載や各関連団体への周知を行いました。イベント内容としては、『成人・小児の言葉、聴こえ、飲み込みなどの相談コーナー』『進路に関する相談コーナー』『脳トレ体験コーナー』『射的・お菓子すくいコーナー』を設け、県士会パンフレットやうちわの配布を行いました。

当日は雨の中始まり、昨年度のように参加者が集まるか不安がよぎりました。しかし、徐々に雨はあがり、協会パンフレットと団扇は約550枚配布し、ブースに立ち寄りしていただけただけの方は195名にのぼりました。相談コーナーには、小児関係、進路関係の相談が多く、言語聴覚士とは具体的にどのような仕事なのかといったご質問にもお応えしました。途中、地元の新聞社の取材も受けました。結果として昨年度以上に多くの方にご来場いただき、大変盛況に終えることができました。運営スタッフとして参加した14名の会員一同、言語聴覚士への社会的ニーズや期待が大きいことを肌で感じることができ、言語聴覚士としての喜びを再度実感できた機会になりました。今後も地域に根ざした言語聴覚士を目指して、言語聴覚障害や摂食嚥下障害ならびに言語聴覚士などについて広く知っていただけるよう協会運営を行っていきたいと考えます。

公益社団法人 大分県言語聴覚士協会  
福利厚生部 山本 周平 (JCHO湯布院病院)



JR大分駅前広場にて



イベント会場の様子